



RI会長
イアン H.S. ライズリー



静岡東ロータリークラブ

会長 / 高田雅司 幹事 / 川崎依子

事務局 / 静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場 / ホテルアソシア静岡 例会日 / 毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>

ロータリー:
変化をもたらす



会長
高田雅司

第 2847 回例会

平成 30 年 3 月 15 日 天候 晴れ

- 《司 会》 川崎 依子 君
- 《合 唱》 「それでこそロータリー」
- 《BGM》 尾崎 豊
FOR ALL MY LOVES
- 《ゲスト》 静岡県議会議員 天野 一 様
- 《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

お誕生日

結婚記念日

3月25日 近江 陽子 君 3月21日 小林 創 君
3月28日 鈴木 洋一 君 3月26日 望月 康弘 君

《会長挨拶要旨》 高田 雅司 会長

皆さん、こんにちは。今日は静岡県議会議員の天野一様をお迎えして「静岡と朝鮮通信使」と題してお話を頂きます。天野様どうぞよろしくお願ひ致します。

さて、三月も中盤、今年もこれから四月に掛け、別れと新しい出会いの時期がやってまいりました。それと同時に社会における役割や立場についても移動や変化のある時期でもあります。

個人的なことで恐縮ですが私も昨年末11月に65歳となり様々な団体における立場に一応の区切りをつけ後進にその役割を引き継ごうと準備をしております。会社における役割については、相談役から顧問となり関わり・役割・責任が随分と軽い立場になります。対外的な業界団体や、経済界での所属・役割も後進に引き継ぐ準備をしていますが、ロータリーだけはしばらく継続させて頂こうと会社にも伝え了解を得ております。

ロータリーに入会させて頂き、その理念や活動の根幹部分について少しずつではありますが理解を深めつつあるところです。中でも職業を通しての社会奉仕社会貢献については入会以前より関心もありました。組織での第一線を引いた当りより、それまでに培った

経験や知識を生かし社会に還元・貢献できる活動をしてゆきたいと漠然と考えておりました。いよいよその時期になったわけですが、具体的にどんな活動をするのか決めたわけでも計画もなく、とりあえずは身近な方々からの建築についての質問、問い合わせに答えることぐらいかと思っています。建築的なご質問などありましたらどしどしお聞かせください。お答えしたいと思ひます。

今後も、ライフワークと思ひている大好きな建築の設計活動とサッカーの活動については、元気で体力の続く限り死ぬまで続けてゆきたいと思ひます。

以上、会長挨拶とさせて頂きます。

《来賓卓話》 静岡県議会議員 天野一 様 「静岡と朝鮮通信使」

皆さん、こんにちは。本日はお招きいただきありがとうございます。また、静岡東ロータリーは60周年を迎えるということで、おめでとうございます。

本日は朝鮮通信使についてのお話をしたいと思ひます。

1607年に徳川家康の招聘により始まった善隣友好の朝鮮通信使ですが、この歴史的事実が家康にとって縁深い静岡において、長い間埋もれたままになっています。

韓国との問題、中国との問題、歴史問題を朝鮮通信使から学ぶことは貴重な未来志向の礎になること、静岡においては歴史の1ページとして多くの皆様を知って頂きたいとの思いから、2007年に朝鮮通信使研究会発足させました。

朝鮮通信使とは何か。1592年豊臣秀吉は朝鮮王朝及び明王朝に対して侵略戦争を始めました。俗にいう文禄の役です。当初こそ朝鮮半島の奥深くまで進行しましたが、やがて民衆の抵抗や明軍の支援などにより劣勢となりました。再進出(慶長の役)を試みたものの加藤清正軍が半数の兵を失うなど負け戦となり、秀吉の死をもってこの戦争は終焉となりました。

この間の秀吉軍は侵略軍の様相を赤裸々に示し、殺

戮、略奪、拉致などを行いました。また陶工、女性農民、儒者など様々な人を日本に連行しました。当然のことながら、朝鮮王朝側の反発は極めて大きいものでした。

その後、秀吉に代わって政権の座についた徳川家康は、秀吉とは対照的な政策を行いました。朝鮮王朝と友好的な関係を築こうとしたのです。文禄・慶長の役の余韻が残る1605年、家康は先の倭乱で活躍した松雲対しを京都伏見に呼び国交回復の意を示しました。朝鮮王朝側も態度を軟化させ、1607年に500人にも及ぶ使節団を江戸の徳川秀忠の下に派遣してきました。家康は使節一行を歓迎し、江戸からの帰途、清水湊でクルージングを楽しませました。この時の景色のキーワードは「清見瀧」から見た「富士山」「三保の松原」「清見寺」でありまして、家康はおよそ400年度に世界遺産になることとなる風景を使節に楽しんでもらおうとしたのです。ただ、残念ながら当日は天気が悪く富士山を見ることはできなかつたようです。

また家康は使節が鉄砲を買いたがっているとの報告を受けた際、「隣国が買いたいのならどうして禁ずることがあるか」と言って、その購入を許可したそうです。朝鮮王朝は先の戦争で鉄砲に悩まされたといわれており、その購入を日本側が認めたということは、再度侵略戦争をするつもりがないことを宣言しているようなものであり、ここに家康の大物ぶりが表れている。

このように家康は秀吉とは違って朝鮮王朝に対しいわば平和的外交を推進したのですが、その理由としては、無謀な戦争は政権を崩壊させると判断してのことであつたと思われまふ。

かくして家康以降、朝鮮王朝側は使節を次々に派遣してくるようになり、1636年、家光将軍の時代にはその使節は通信使の扱いとなりました。「通信」とは信を通わすという意味であり、商取引だけでなく心も通わす関係になつたのである。

使節は合計12回来日しました。主な目的は新将軍の就任祝いであつたので江戸まで行くのが通例でありました。静岡県では、浜松宿、掛川宿、藤枝宿、江尻宿三島宿で宿泊し、新居宿、見附宿、吉原宿で昼食を取つたが、その時のご馳走は贅を極めるものであつたといひます。通行をスムーズにするために天竜川、富士川には架橋したが大井川は流れが速く架橋できなかつたそうです。それらの経費は農民負担であつたが、反面庶民、農民たちは通信使行列を楽しみにしてつたといひられています。

静岡市の宝泰寺と清見寺に使節は往路復路都合6回も宿泊、休息の為に立ち寄つています。多くの歴史的資料の一部は県の文化財に指定されており、将来的には国宝に指定されるような価値のある資料もあるといひられています。こうした話には胸が躍ります。

現在、東アジアは歴史認識、領土問題などで揺れてついます。これは各国のナショナリズムが強くなり、共通した歴史認識が持てないことの表れではないでしょうか。秀吉の朝鮮侵攻で連行した被虜人多数を解放した家康の平和外交手腕を、日本をはじめ東アジア諸国は大いに参考にすべきであり、私は朝鮮通信使にそのヒントがあると思ひます。

《スマイル報告》

由利 浩志 君 日頃大変親しくお付き合いをさせていただいております天野先生に卓話にお越しいただきました。感謝申し上げます。

遠藤 正和 君 来週土曜日の24日は、浅畑川清掃活動に多くの方のご参加、ありがとうございます。前日23日は当社の株主総会がここアソシアで開かれますが、浅畑川の方がよっぽど気に入つています。当日が実施判断に悩むことがないような良い天気にも恵まれることを期待してスマイルです。

望月 康弘 君 一昨日のあすなる会ゴルフコンペではパンカーにつかまり、ビリだと思つてつたところ、なんと優勝してしまいました。次回は5月29日(火)リバー富士で行つます。宜しく願ひいたします。

金井 徳幸 君 初めてあすなる会に参加しました。メンバーと天気にも恵まれて楽しく気持ちよくラウンドできたおかげで、結果も出来すぎでした。ありがとうございます。

近江 陽子 君 お誕生日のお祝いありがとうございます。毎年、年度末の慌ただしさにまぎれて誕生日を実感しづらいつたのですが、ここで祝つていただきとても感激致しました。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
3/15	51(49)	36	13	-	-	-
3/8	51(49)	36	13	-	-	-
3/1	51(48)	41	7	4	3	93.75%

今回写真のデータが壊れてしまい文字のみの会報となつてしまいました。ご容赦ください。

(会報作成 島 武志)